

# 「小山田小学校の小山田太鼓踊り伝承の取組」

## 1 学校名

鹿児島市立小山田小学校

## 2 学年・人数

小学校5年生・6年生（計37人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

6月～7月，発表前 小山田小学校体育館及び校庭

### (2) 発表の日時・場所

小山田町孝子碑夏祭り（7月：小山田小校庭）

鹿児島市松本市スポーツ交流事業（7月：アミュプラザ広場）

小山田町小山田小合同秋季大運動会（10月：小山田小校庭）

サンエールフェスタ「輝きオンステージ」（1月：サンエールかごしま）

伊敷地区あいご子ども会大会（2月：伊敷公民館）

## 4 伝統・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

### (1) 名称

小山田太鼓踊り（こやまだたいこおどり）

### (2) 由来

小山田太鼓踊りは，小山田町に伝わる郷土芸能である。豊臣秀吉の朝鮮出兵の時に，島津義弘が武士たちの士気を高めるために始めたと言われている。その後も，小山田町では，雨乞いや農作物の虫除けを祈って行われたそうだ。戦後，途絶えていたが，昭和40年復活したそうだ。

### (3) 構成等

太鼓と鉦に分かれて踊る。太鼓の方がやや多い。

独特のリズムがあり，それぞれ1番道，2番道，3番道・・・と呼ばれる踊りの型がある。それらをいくつか組み合わせ，体型を変えながら踊る。

太鼓の人は，白い衣装を着て太鼓を身に付ける。飛び跳ねながら太鼓を打ち，力強く手をまっすぐ上に伸ばすのがポイントである。鉦の人は，黒い衣装を着る。約3kgの重い鉦を片手で掲げ，リズムよく鐘の音を響かせる。

## 5 保存会や地域との連携の具合

平成14年から，総合的な学習の時間で，5・6年生が取り組むようになった。踊りの練習だけでなく，太鼓踊りのいわれ等についての調べ学習も行っている。

小山田町太鼓踊り保存会が，練習の指導，発表の着付けや飾り付け，校外での発表における道具の運搬等，全面的に協力してくださっている。

小山田町孝子碑夏祭りでは、太鼓踊り保存会による太鼓踊りの披露もあり、子どもたちにとっては、よい手本になっている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

小山田町の伝統文化を伝承していくために、学校教育活動への位置づけを明確にし、5・6年生全員が踊ることができるようにしている。また、踊りの由来についても学習させることで、小山田の文化に誇りをもつことができるようにしている。

6年生が5年生や4年生に踊りを手ほどきするなどして、子ども間で伝承していく体制も整いつつある。

また、踊る前の衣装の着付け及び太鼓の装具などを、保護者及び職員も一緒に行い、伝承文化にかかわる機会を設けたり、学校だよりで活動の様子を積極的に広報したりしている。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【小山田町孝子碑夏祭りでの発表】



【アミュ広場での発表】



【秋季大運動会での発表】



【サンエールフェスタでの発表】



【伊敷地区あいご子ども会大会での発表】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 〈児童〉

4年生：5年生になったら、太鼓踊りを踊るので、とても楽しみ。4年生のうちから、5・6年生が踊る様子をしっかり見ておきたい。

5年生：初めて太鼓踊りを踊ってみて、初めはリズムが難しくてなかなかうまくいかなかったけれど、6年生や太鼓踊り保存会の方々に教えていただいて、だんだん踊れるようになった。地域の皆さんの前で踊ることができ、たくさんの拍手をもらってうれしかった。

6年生：2年目だったので、4・5年生にも教えてあげようがんばった。今年は、アミュ広場やサンエールフェスタ、伊敷公民館でのあいご子ども会大会でも踊る機会があり、とてもいい思い出になった。これからも小山田の伝統を受け継ぎ守っていく活動に積極的に取り組みたい。

### 〈保護者〉

子どもたちが踊るのを見るのがとても楽しみである。小山田の伝統を受け継ぐ活動をさせていただいてありがたい。

### 〈保存会〉

小山田太鼓踊りの練習をとおして、自分たちの住んでいる小山田町に誇りをもってほしい。小山田町で大切にされてきた文化を引き継いでほしい。

### 〈学校職員〉

小山田の伝承文化に触れる機会をいただき、小山田の理解に役立っている。保護者や地域の方々との交流が深まり、他の教育活動への協力も得られて、ありがたい。